

科目名	情報処理C	学年	2
サブタイトル	マルチメディア情報を含むWebページの加工と発信	単位	1
教員名	太田 信宏	研究室	1314
連絡方法	ohtan@bunkyo.ac.jp		
授業概要	現代社会ではWebページ、ブログ、SNSなど、インターネットを活用したさまざまな情報発信が可能となっている。この授業の目的は、マルチメディア情報を含むデータの加工と発信である。授業ではHTMLによるWebページ作成やマルチメディア情報の受信・発信方法を学習する。またデジタルカメラ・スマートフォンを活用した画像データの編集・加工、さらにJavaScriptなどによる動的コンテンツの作成なども行う。授業はPCによる演習形式で行う。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・HTMLタグとスタイルシートを用いてWebページを作成できる ・JavaScriptを利用した動的コンテンツを作成できる ・画像データを加工・編集してマルチメディア情報を発信できる 		
授業計画(1回)	1.授業オリエンテーション、HTMLとタグの基礎知識		
授業計画(2回)	2.文字修飾とページレイアウト		
授業計画(3回)	3.テーブルを利用したWebページ		
授業計画(4回)	4.ハイパーリンクとリスト表現		
授業計画(5回)	5.おすすめリンクのWebページ作成		
授業計画(6回)	6.スタイルシートとページのデザイン		
授業計画(7回)	7.画像の編集と加工1(トリミングと色表現)		
授業計画(8回)	8.画像の編集と加工2(サムネイル画像とWebページ)		
授業計画(9回)	9.画像の編集と加工3(動画データの活用法)		
授業計画(10回)	10.JavaScriptの基礎知識		
授業計画(11回)	11.動的なウェブコンテンツ作成		
授業計画(12回)	12.フォームの利用		
授業計画(13回)	13.タイマー設定と簡易ゲーム		
授業計画(14回)	14.ウェブアルバムとスライドショーの作成演習		
授業計画(15回)	15.作品紹介・授業のまとめ・授業アンケート		
授業外での学修(予習・復習)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で取り上げるHTMLタグ・スタイルシートについて事前に調べておくこと ・オリジナルの素材データ(写真・動画等)をスマートフォン、デジタルカメラなどに用意すること ・コンテンツ作成後に他学生の作品を鑑賞し、比較・検証すること 		
授業外学修時間	各授業回の事前事後で1時間以上の授業外学修を目安とする。		
評価方法	評価の割合は、定期試験40%、授業中の課題25%、作成したコンテンツ25%、平常点10%として100点換算する。定期試験はPCによる実技試験を行う。		
評価基準	定期試験では、HTMLの作成を通して、ウェブページのデザインと表現方法をみる試験を行う。授業中の課題および作成するコンテンツについては、提出点+内容点の合計を点数化する。内容点とは成果物の完成度・内容・分量・センスの総合点である。すべての評価項目を100点換算した点数で90点以上をAA、80点以上をA、70点以上をB、60点以上をC、59点以下をDとする。		

フィードバック	提出した課題については、翌週の授業で解説を行い、必要に応じ補足説明をmanabaまたは授業ウェブページに掲載する。
授業で使用するテキスト	資料を配付する。
参考書	使用しない。
受講生へのメッセージ	インターネット上には、文字、図形、画像、音声、動画などのマルチメディア情報が流れています。これらのデータを有効に活用する方法を身につけると同時に、自分のWebページを通して情報発信する方法を学んで下さい。また遅刻・欠席をしないよう注意して下さい。授業に対する姿勢・態度も評価のポイントになります。遅刻（15分以内）／早退は3回で欠席1回分とみなします。
実務経験のある教員に関する情報	